

東リ株式会社

証券コード／7971

株主・投資家のみなさまへ

第158期 中間報告書

2021年4月1日▶2021年9月30日



よろこびを敷きつめる

株主・投資家のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第158期中間期(2021年4月1日~2021年9月30日)が終了いたしましたので、当社グループの事業活動についてご報告申し上げます。

当中間期は、世界各国で新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を模索する中、変異型ウイルスが猛威を振るい、感染再拡大のリスクとともに未だ先行き不透明な経済状況が続いております。当社グループを取り巻く事業環境におきましても、新築・リニューアルを含め、インテリア需要が本格的回復には至らず、主要原材料価格の高騰などにより、引き続き厳しい経営環境となりました。

そのような状況下ではありますが、当社グループでは新中期経営計画「SHINKA Plus ONE」を中心に事業活動を推進し、中計初年度目標の達成に向け、企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、倍旧のご理解ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

永嶋元博



第158期中間期(2021年4月1日～2021年9月30日)の事業の状況

当中間期の連結業績につきましては、前期のコロナ禍から徐々に需要回復の兆しがみられたことや住宅市場における巣ごもり需要が引き続き堅調に推移したことなどにより、連結売上高は前年を上回りました。利益面では、塩ビ樹脂やナイロン原糸等の主要原材料価格高騰による収益悪化要因に対し、製品価格改定や生産効率向上などの収益改善策に取り組みました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症パンデミックの収束が未だ見通せない中、ウィズコロナ時代のライフスタイルが定着し、オフィス・住宅分野での新たな需要も生まれつつあります。一方で、原油・ナフサ相場の急騰による原材料調達環境の悪化や原材料価格上昇への対応は、当社グループの喫緊の課題となっております。

このような状況の下、製品価格の改定はもとより、カーテン総合見本帳「フフル」を皮切りに、抗ウイルス製品を拡充したビニル床シート「シートコレクションCF」・「シートコレクションNW」や高いデザイン性を誇るタイルカーペット「GXシリーズ」などの新製品を投入し、高付加価値品の拡販にも力を注いでまいります。

持続的成長に向けて

2021年4月より、新中期経営計画「SHINKA Plus ONE」を推進しております。「SHINKA Plus ONE」ではA「コア事業の強靱化」、B「伸びしろ事業の成長拡大」、C「第5事業の創造」、D「グループ横断機能の強化」、E「成長を支える経営基盤の構築」の5つの重点戦略を掲げ、経済的価値と

社会的価値の拡大を図ってまいります。脱炭素社会の実現に向けた取り組みや新たな事業の創造など、直面する課題に果敢に取り組み、持続的成長へとつなげてまいります。

地球環境保全に向けた取り組みに注力

当社グループでは、環境への取り組みに関わる主要テーマとして、「産業廃棄物の削減」、「省エネルギーの推進」、「安心・安全に配慮した企業活動」を掲げております。特に「産業廃棄物の削減」に向けて、リサイクル事業に注力しております。カーペット製造の主力工場である滋賀東リ株式会社に設置しましたタイルカーペットリサイクルプラントが当中間期に稼働し、タイルカーペット製造過程で発生する端材や廃止品などのリサイクルが順調に進んでおります。今後、設備の増設を進め、タイルカーペット製造のゼロエミッション化を目指してまいります。

そして、工場内リサイクルのみならず、市中廃材のリサイクルにも注力いたします。オフィスリニューアル工事等で発生する使用済みタイルカーペットを回収・粉砕し、タイルカーペットの原材料として再利用する「水平リサイクル」を推進することでサプライチェーンにおける産業廃棄物の削減にも貢献してまいります。

また、環境負荷低減をテーマとした研究開発にも注力しており、産学連携での取り組みを強化して、地球環境保全と事業拡大の両立を図ってまいります。

当社グループのESGへの取り組みにつきましては、11月30日公開予定の「東リCSRレポート2021」をご参照ください。
URLはこちら→https://www.toli.co.jp/csr/pdf/2021all_a3.pdf



クローズアップ グローバル戦略

「グローバル事業の質的量的拡大に向けて」

取締役 常務執行役員
グローバル戦略推進部長

橋本 昌幸



当社がこれからも安定して成長するためには、グローバル市場における売上拡大が不可欠です。当社グループは50年近く輸出ビジネスに携わっており、安定した売上を計上しておりますが、未だ成長途上にあります。新中期経営計画「SHINKA Plus ONE」においては売上高をコロナ前まで着実に回復させ、長期ビジョン「TOLI VISION 2030」において更なる高みのステージへと成長することを目指してまいります。

成長戦略のひとつは、グローバル市場において JAPAN TOLIブランドのイメージを高めることであり、中国・シンガポールの営業拠点を中心に販売力



東海(上海)ショールーム

の強化を図ります。現地に根差した営業を強化すべくショールーム・海外拠点の増強、現地スタッフの増員

等、コーポレート・リレーション(CR)活動をより活発に取り組んでまいります。また、中国におけるビニル系床材製造合弁事業「江蘇長隆プロジェクト」の推進も重要な成長戦略の一つです。グローバル製造拠点での「東リ品質」の製造体制を構築すべく全社をあげて取り組んでいます。コロナ禍で困難に直面しながらも技術者を派遣し、本格生産に向けて準備を進めてまいります。巨大マーケットである中国・アジア市場に向けて、価格競争力があり、かつ高品質の「Made by TOLI」製品の拡販を目指します。

未だ対面営業が困難な状況ではありますが、Webミーティングやメルマガ・SNSの活用など、当社にとって最も大きな「伸びしろ」であるグローバル事業の質的量的拡大に向けて知恵を絞り、積極的に挑戦し続けてまいります。

新任役員のご紹介



せきね ちかこ 関根 近子 (社外取締役)

1972年 4月 資生堂山形販売株式会社入社
2014年 4月 株式会社資生堂執行役員常務
2018年 2月 株式会社Bマインド代表取締役(現任)
2018年 6月 日本バルカー工業株式会社((現)株式会社バルカー)社外取締役(現任)
2019年 8月 宝印刷株式会社((現)株式会社TAKARA&COMPANY)社外取締役(現任)
2021年 6月 当社社外取締役(現任)

このたび社外取締役を拝命しました関根近子でございます。当社が「ライフスタイルをデザインする企業へ」の進化とともに、真に社会から必要とされ続ける企業グループへの変革&実現に向けて、微力ながら中立的な立場と公正な視点に立ち経営監督と忌憚ない意見を述べることで貢献してまいりたいと存じます。株主・投資家のみなさま、今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。



ふじい ひでのぶ 藤井 秀延 (社外取締役)

1979年 4月 株式会社三和銀行入行
2010年 6月 株式会社三菱東京UFJ銀行((現)株式会社三菱UFJ銀行)常務取締役
2013年 6月 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社代表取締役社長
2017年 6月 日立造船株式会社取締役副会長
2021年 6月 当社社外取締役(現任)
2021年 8月 株式会社中北製作所社外監査役(現任)

このたび社外取締役を拝命いたしました藤井秀延です。1919年の創業以来、床材などでインテリア業界をリードしてきた歴史と伝統の東りの一員となり大変光栄です。私達を取り巻く社会・環境の変化は速く多様で、一瞬も見逃せません。この変化・リスクの対応に、社外の客観的立場から貢献し、当社の歴史・伝統に新たな足跡を積み重ねられるよう尽力する所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。



すずき じゅん 鈴木 潤 (常勤監査役)

1980年 4月 当社入社
2011年 6月 当社取締役
2013年 4月 当社取締役管理本部長
2015年 4月 当社常務取締役
2018年 4月 当社専務取締役
2021年 4月 当社取締役社長補佐
2021年 6月 当社常勤監査役(現任)

このたび常勤監査役を拝命いたしました鈴木潤です。当社入社以来、技術部門、企画部門、及び管理部門等におきまして幅広く業務を経験するとともに、取締役として経営にも携わってまいりました。これからもさらに研鑽を積み、監査役として当社の健全な発展と企業価値の向上に尽力する所存です。みなさまどうぞよろしく願い申し上げます。

NEWS CLIP
02国際都市 東京の新たなランドマークで
東リ製品の採用が拡大

東京の国際競争力強化を目指す東京駅前常盤橋プロジェクト。その第一弾として2021年6月、「TOKYO TORCH 常盤橋タワー」が竣工し、東リ製品が多数採用されました。

オフィスフロアの床にはタイルカーペット「GA-3600」が採用され、温かみのあるグレーがオフィスごとに異なるレイアウトや家具に調和するよう配慮されています。8階のオフィス利用者専用ラウンジは、日本の繊細な技術を連想する「組・積・掘・編」をデザインモチーフに空間を演出。メインラウンジにはロイヤルタイ社製特注アクスミンスターカーペットを敷設し、「編」の表現を担いながら、メインラウンジとしてのグレード感を生み出しています。

2027年度には同地区に日本一の高さとなる超高層ビル「TOKYO TORCH Torch Tower」(地上63階、高さ390m)の竣工が予定されており、日本の魅力を世界に発信する街づくりが進められています。これからも当社のモノづくりが新たなランドマークを彩り、国際的な交流の場となる空間づくりに貢献できるよう取り組んでまいります。



アクスミンスターカーペット (ロイヤルタイ社製特注品)



TOKYO TORCH 常盤橋タワー

所在地：東京都千代田区大手町2丁目、中央区八重洲1丁目
 事業主：大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業 施行者 三菱地所株式会社
 設計・監理：株式会社三菱地所設計
 デザイン：株式会社メック・デザイン・インターナショナル(8階 オフィス利用者専用ラウンジ)
 施工：戸田建設株式会社
 材料(東リ製品)：GA-3600、アクスミンスターカーペット(ロイヤルタイ社製特注品) 他
 完工：2021年6月

NEWS CLIP

03

住宅市場向け製品の 抗ウイルス・ノーワックス化の実現

在宅時間が増加し、暮らしにおける衛生環境への関心が高まる中、抗ウイルスやメンテナンス性といった機能性に注目が集まっています。

本年10月に発売したクッションフロア「CFシート」では、業界に先駆けて全点抗ウイルス性能(SIAA認証)を標準としました。なかでも「CFシート-P NW」は、当社独自のメンテナンス性能(ノーワックス)を加え、収録アイテム全点がペット仕様としてご利用いただけるよう大幅に刷新いたしました。

クッションフロアは当社が1972年に国内で初めて発売したロングセラー商品であり、永きに亘り「CFシート」の商品名で住宅をはじめとした様々な室内空間を彩ってきました。ウィズコロナの時代、新たなライフスタイルに寄り添うモノづくりにこれからも取り組んでまいります。



抗ウイルス製品の詳細につきましては、東リの内装材から始めるウイルス対策をご参照ください。
URLはこちら→<https://www.toli.co.jp/antiviral/>



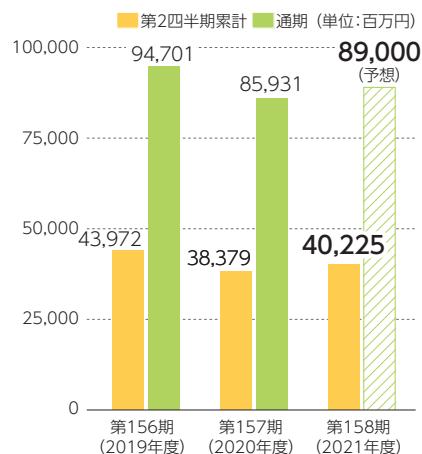
CFシートH



CFシート-P NW

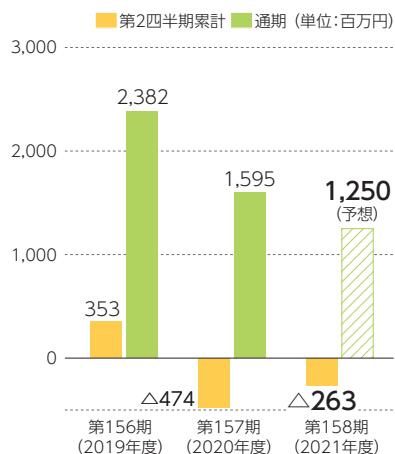
売上高

402億25百万円



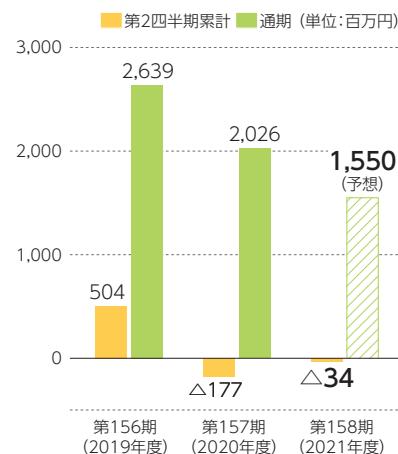
営業利益

△2億63百万円



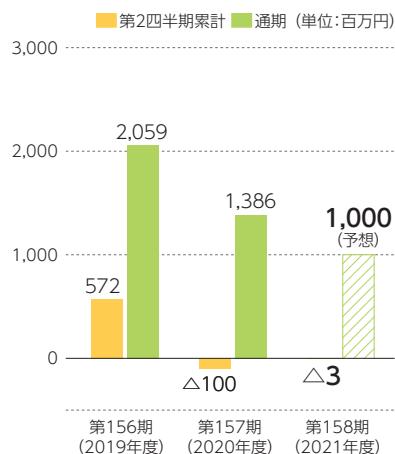
経常利益

△34百万円



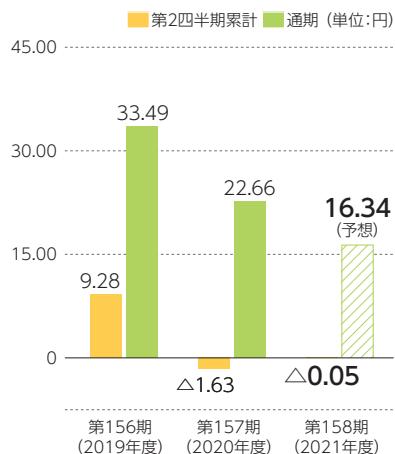
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

△3百万円



1株当たり四半期(当期)純利益

△0.05円



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第158期の期首から適用しており、第158期に係る業績については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

セグメント別の営業状況

第158期 中間報告書 (2021年4月1日~2021年9月30日)

■ プロダクト事業

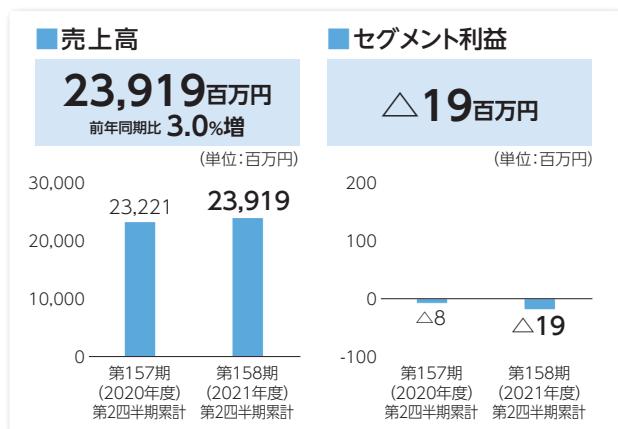
プロダクト事業は、コロナ禍での新たな生活様式に応じた販促活動にも注力し、ビニル系床材やカーペットを中心に主力製品群で売上高を伸ばしました。

ビニル系床材では、医療・福祉や教育施設向け需要が低調に推移したことで汎用価格帯のビニル床シートは伸び悩みましたが、オフィスリニューアル需要の回復により、置き敷きビニル床タイル「ルースレイタイル LLフリー50NW-EX」が伸長するなど、全体の売上高は前年同期を上回りました。

カーペットでは、2020年9月に改廃を実施したタイルカーペット「GA-100シリーズ」及び「GA-3600」がオフィスリニューアル市場に浸透したことで大きく伸長しました。また、巣ごもり需要に対応した住宅用タイルカーペットが引き続き堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

壁装材では、主力の見本帳であるビニル壁紙「VS」は伸長しましたが、「パワー1000」が低調に推移したことで、売上高は前年同期を下回りました。

カーテンでは、総合見本帳「フフル」は好調に推移しましたが、学校・病院向けを主体とする「コントラクトカーテン」が低調であり、売上高は前年同期を下回りました。



利益面では、塩ビ樹脂やナイロン原糸等の主要原材料価格高騰による収益悪化要因に対して、生産効率の向上や間接経費の縮減に努めてまいりました。また、7月より製品価格の一部改定を進めてまいりましたが、上代改定を含む本格的な価格改定は10月下旬からの実施であり、当中間期における改定効果は一定程度にとどまっております。

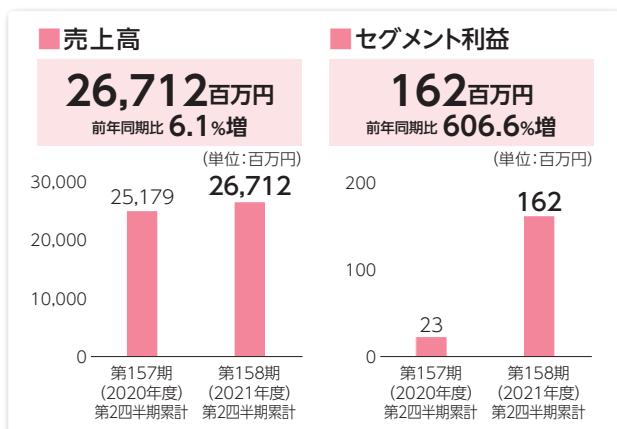
■ インテリア卸及び工事事業

インテリア卸及び工事事業は、コロナ禍からの回復途中の中、主にオフィス向けの需要が堅調であったことから売上高は前年同期を上回りました。また、東璃(上海)貿易有限公司は、中国国内における経済活動の回復に伴い増収増益となりました。

※プロダクト事業とは、主に当社及び関係会社がビニル系床材やカーペットなどのインテリア製品を製造・販売する事業です。

※インテリア卸及び工事事業とは、主に関係会社がインテリア関連商材の仕入販売及び内装工事を行う事業です。

(注) セグメントの業績は、セグメント間の取引を含めて表示しております。



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第157期 2021年 (3月31日現在)	第158期 第2四半期 2021年 (9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	45,794	43,169	△ 2,625
固定資産	31,022	32,033	1,010
有形固定資産	21,056	22,083	1,026
無形固定資産	1,284	1,131	△ 153
投資その他の資産	8,681	8,817	136
① 資産合計	76,817	75,202	△ 1,615
負債の部			
流動負債	27,570	25,574	△ 1,995
固定負債	11,159	11,932	772
負債合計	38,730	37,507	△ 1,222
純資産の部			
株主資本	36,043	35,518	△ 525
その他の包括利益累計額	1,782	1,904	122
非支配株主持分	261	272	10
純資産合計	38,087	37,695	△ 392
負債純資産合計	76,817	75,202	△ 1,615

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第157期 第2四半期 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)	第158期 第2四半期 (2021年4月1日～ 2021年9月30日)	増減
② 売上高	38,379	40,225	1,845
売上原価	27,624	29,195	1,571
売上総利益	10,755	11,029	274
販売費及び一般管理費	11,229	11,292	62
③ 営業利益(損失:△)	△ 474	△ 263	211
営業外収益	409	321	△ 87
営業外費用	111	93	△ 18
経常利益(損失:△)	△ 177	△ 34	142
特別利益	77	129	52
特別損失	18	12	△ 6
税金等調整前四半期純利益 (純損失:△)	△ 118	83	201
法人税等合計	△ 17	74	91
四半期純利益(純損失:△)	△ 100	8	109
非支配株主に帰属する 四半期純利益(純損失:△)	△ 0	12	12
親会社株主に帰属する 四半期純利益(純損失:△)	△ 100	△ 3	96

POINT

① 資産合計

流動資産は、前年度の第4四半期に増加した売上に係る債権の回収が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ2,625百万円減少し、43,169百万円となりました。

固定資産は、滋賀事業所におけるビニル系床材製造設備への投資等により、有形固定資産が増加しました。その結果、前連結会計年度末に比べ1,010百万円増加し、32,033百万円となりました。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,615百万円減少し、75,202百万円となりました。

② 売上高

コロナ禍での新たな生活様式に応じた販促活動に注力したことや、オフィスリニューアル市場での需要回復等により、売上高は40,225百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

③ 営業利益(損失:△)

生産効率の向上や間接経費の縮減、製品価格の改定を進めることで利益面の改善に努めてまいりましたが、主要原材料価格の高騰が影響し、収益環境は厳しいものとなりました。その結果、営業損失は263百万円となりました。

会社概要

創 立 1919年(大正8年)12月1日
 資 本 金 6,855百万円
 従 業 員 数 891名
 主な事業内容 ビニル床タイル、ビニル床シート、カーペット、
カーテン、壁装材、接着剤等の製造販売
 本 社 兵庫県伊丹市東有岡五丁目125番地
 東 京 本 部 東京都港区東新橋二丁目10番4号
 工 場 伊丹、厚木
 ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
 営 業 所 札幌、仙台、盛岡、郡山、新潟、長野、東京、大宮、
千葉、水戸、八王子、横浜、名古屋、静岡、金沢、
大阪、京都、神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、
北九州、鹿児島、沖縄

役 員

〈取締役・監査役〉 代表取締役社長 永嶋元博
 取締役専務執行役員 天野宏文
 取締役常務執行役員 徳島裕恭
 取締役常務執行役員 橋本昌幸
 取締役 横田絵理子
 取締役 関根近秀延
 取締役 藤井秀潤
 常勤監査役 鈴木晴信
 常勤監査役 江邊拓夫
 監査役 森川照夫
 監査役 渡沼

(注) 1. 横田絵理、関根近子および藤井秀延の3氏は、社外取締役であります。

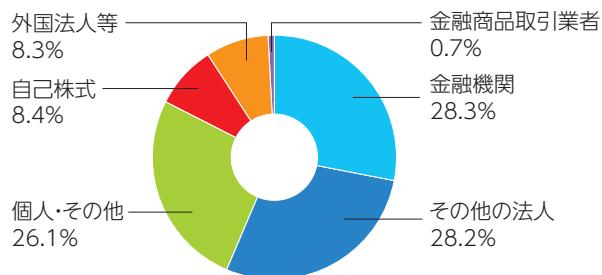
2. 森川拓および渡沼照夫の両氏は、社外監査役であります。

〈執行役員〉 常務執行役員 中野洋二
 常務執行役員 荒木陽三
 常務執行役員 立花敦司
 執行役員 田淵俊之
 執行役員 工藤務
 執行役員 長森正知
 執行役員 園田信子
 執行役員 児玉剛治

株式の状況

発行可能株式総数…………… 141,603,000株
 発行済株式の総数…………… 66,829,249株
 株主数…………… 8,347名

○所有者別株式分布状況



○大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,860	9.5
日本生命保険相互会社	3,641	5.9
株式会社トクヤマ	2,780	4.5
双日株式会社	2,532	4.1
東親会持株会	1,878	3.0
株式会社三菱UFJ銀行	1,777	2.9
三信株式会社	1,730	2.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,536	2.5
帝人フロンティア株式会社	1,489	2.4
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.4

(注) 持株比率は、自己株式(5,642千株)を控除して計算しております。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株主名簿管理人 事務取扱場所 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/

■公告の方法

電子公告の方法により、東リホームページ(<https://www.toli.co.jp>)に掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



東リ株式会社

<https://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、製品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。

本誌に関する 注意事項	本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、様々な要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

表紙は、ビニル床シート[CFシート-H]、タイルカーペット[GXシリーズ]、カーテン[フフル]、壁紙[パワー1000]の2021年度に発売した新製品です。

